

# NEXT HEBEL HAUS



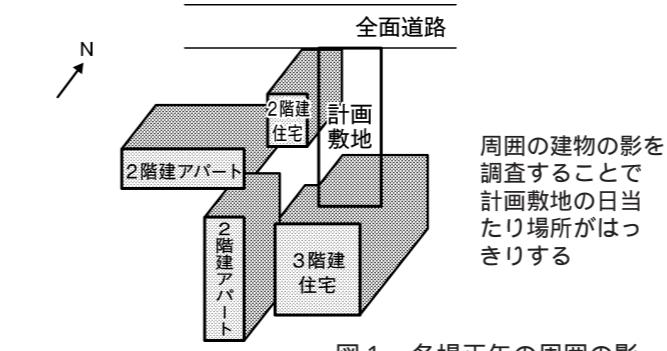
# CUT & GABLE

塊から削り出す [=CUT] デザインで  
モダンな箱形に家形 [=GABLE] を重ね合わせ、  
新しい外観と変化に富んだ空間をつくり出す。  
壁へ一ベルの量塊感・素材感を活かした都市の邸宅、  
カットアンドゲーブル誕生。



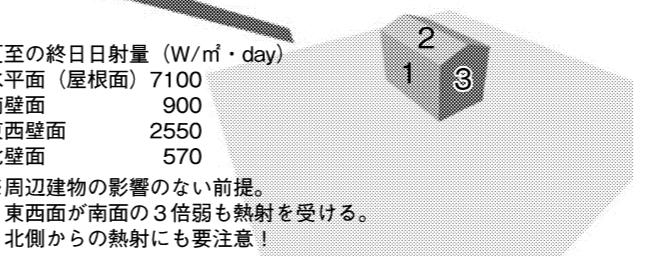
## 旭化成ホームズ株式会社

〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル TEL 03-3344-7115 <http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/>

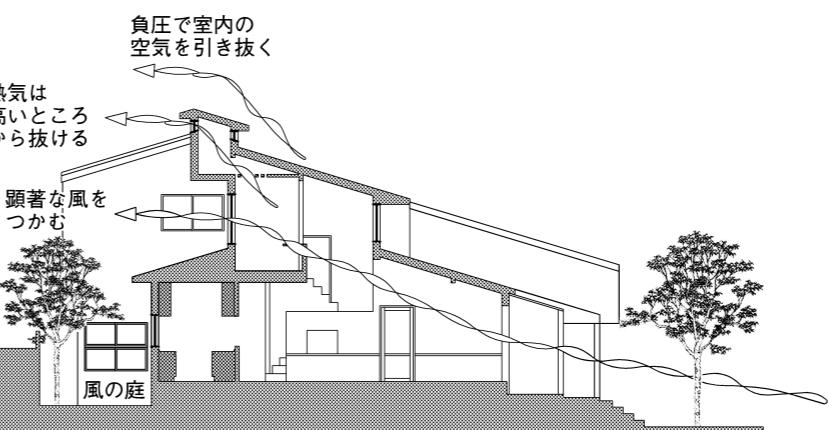


## 1 冬場正午の周囲の影

冬の太陽



## 2 建物に当たる面ごとのエネルギー



### 3 通風と熱気の排出

る(図3)のもパツシブな在り方だ。

温熱環境デザインが  
建物の個性を創る

# 個性豊かに創っていく 建てとしていただき い。

**具体的な方法**

【冬のポイント】

① 太陽の熱エネルギーを集めるために、影の調査を怠らないこと(図1)

敷地の南側が建物で囲まれている時こそ、人念に影の調査をすると配置計画の指向性が見える。図の敷地では影のない場所に光庭を位置づけた。

② 断熱や気密だけではなく、「Q値」の意味を知

ると納得の性能になると納得の性能になると納得の性能になると納得の性能

紙面の都合上、詳述はできないが、今や断熱性能だけでは偏っている。トータルバランスを計るQ値の質を上げることが望まれる。当社のホームページ「性能1・Q値」を参照されたい。

③ 窓ガラスは要注意

明るさや室内的印象を良くするガラスは、寒さ

の元凶。ペアガラスでも全く安心できない。ガラスの表面温度の冷たさを室内に響かせないカーテンを工夫したり、冷たい下降気流が生じている場合は、その下部にヒータなど)を備えるとよい。

が理解できる。  
【夏のポイント】  
⑤ひせしをしつかりと  
(写真2=前ページ参照)  
屋根の汗の出をいか

効果的。夏場の東面を外付けルーバーで覆うと、

なんと「エアコンを1回  
しか使わなかつた」との 報告も入つた  
前ページ参照

を、「宇宙からの「呼びかけ」と考えて、それに「応答する」ように考へること」と言えばわかりやすいだろうか。前述の冬と夏のポイントも、呼びかけに応える方法だ。